

わたしのまわりでおきたこと

附ぞく坂出小 三年 植田 泉希

去年の七月二十一日、山口県ほうふ市で土
 砂さいがいがありました。前の日からの記ろ
 くてきな大雨で、山の土がながれだしたので
 す。わたしは、この土砂さいがいのことをテ
 レビの全国ニュースで知りました。空から見
 ると、山に大きな茶色の川ができているよう
 でした。ニュースでは、土砂が老人ホームに
 ながれこんで、三人のお年よりがなくなり、
 まだゆくえ不明の人がいることをほうそうし
 ていました。

ほうふ市には、わたしのおじいちゃんとお
 はあちゃんに住んでいます。ニュースを見た
 お母さんは、あわてておじいちゃんの家に通
 話しました。わたしも、「おじいちゃんた
 ちだいじょうぶかな」と不安になりました。
 あんなにたくさんさんの土が家の中に入ってき
 ら、きつとにげることもなうてできないだろ

なあと、こわくなりました。

おじいちゃんの家はぶじだったけど、家の前の川は、水があふれていたそうです。いっしょにすんでいるおじいちゃんは、電車が止まって家に帰れなかったといっていました。

わたしは、去年の夏休みに、土砂でふさがった道をき見に行ってみました。そのころはぐちゃぐちゃになった道をき工事しはじめたばかりでした。たくさんの人が使うこの道が通れなくなってしまうので、遠まわりしなければいけないと、おばあちゃんが話してくれました。たった一日の大雨で、みんなの生活がこんな大へんな事になるんだ。本当に自ぜんのさいがいがおそろしいことを知りました。

人は自ぜんの力を止められないのかな。どうしたらひがいが少なくなるのだろう。その後、ほうふ市ではハザードマップを配り、さいがいがおきやすいところや、ひざん場所を知らせているそうです。もし、さいがいがお

きてもおちついて、少しでも早く行動できる
ようにすることが大切です。わたしも家族と
あぶないところやひなん場所をかんにんし、
できるかぎりのじゅんぴきしておきたいです。